

# 行政改革を進めています

市は、行政評価として第四次蒲郡市総合計画の施策評価に取り組んでいます。今号では、行政改革委員会で選定した6施策および平成28年度主要・新規事業2事業について外部評価を行いましたので、評価結果と提言についてご紹介します。

行政課 ☎ 66・1155

## 行政改革って何するの？



行政改革委員会は、行政の行う事業に市民目線で評価とアドバイス(提言)を行います。担当部署が行う行政評価をもとに聞き取りを行い、委員会が提言をまとめます。

今回の提言では、「意識調査による評価を行う場合は、対象者・質問内容が適切なのか十分に検討すること」「サービスを受ける市民の意見を施策・事業に反映し、評価すること」「複数の担当課に関連する取り組みは緊密に連携を取って進めていくこと」などがあげられました。

### 地域医療

市民病院経営は赤字であるが、病院事業としては市民の満足度が高くなってきているのと考えられる。地域医療の機能分化を促進するためにはかかりつけ医制度を普及させることが重要であり、市内の開業医との連携を密にしていくことを考えていかなければならない。また、市民病院利用者の満足度を評価することで課題・問題を明らかにし、それらに対する対応を進めていくことが求められる。

### 地球温暖化対策

家計部門の活動を適切に反映するためには、世帯の環境家計簿によって家計の対策を評価することが必要である。産業部門についても、省エネ・省資源の取り組みを把握し、評価することを検討することが必要である。また、環境に配慮したワークスタイル・ライフスタイルの提案については、評価されていないので、事業として取り上げて評価することが必要である。

### 新産業

この施策は、行政が民間の新産業に関わる活動が円滑に進められる舞台づくりをするものであり、行政が主体的となって実施するものづくり(舞台・道具類)、人づくり(俳優、民間を支援する活動としての仕組みづくり(シナリオ)に例えることができる。ものづくり・仕組みづくりはなかなか成果が現れないが、人づくりは成果が現れやすいので、これを指標の一つとすることが必要である。

### 多文化共生

翻訳機能(音声)アプリを窓口業務などのさまざまな場面で活用することが重要であり、評価については、担当課での外国人対応の問題点の把握や課題を発掘し、それらを評価することも重要である。また、市民の国際意識の高揚および育成のためには、国際交流協会の活動を支援していくことが必要であり、活動の評価については、サービスを受ける側の意見を元に行うことが重要である。

### 消防・救急

評価指標および目標値について、市民が防火に対してどのような意識を持っているのか、サービスを受ける市民の意見を施策に反映することが重要である。また、消防車・救急車が入れないような道路については、GISなどで把握していくことが活動を速やかに行うためには必要で、関連する部局との連携によって、その構築や運用を進めて行くことが求められる。

### ふるさと蒲郡応援寄附金事業

自主財源ではあるが安定的な財源とは言いがたいので、費用効果を見極めながら、展開することが必要となる。地場産業の活性化に効果が出るような方策(返礼品の充実など)を関連する部局と進めて行くことや、ふるさと納税者に対して納税された税金の活用を「見える化」することもポイントとなるので、この点を課題として事業を進めることが必要である。

### 交通安全

少ない人員で広い守備範囲をこなさなければならぬ大変さはあるが、その分、外部資源を活用することが重要で、「協働のまちづくり」に関連する団体との連携を進めていくことが必要と考えられる。また、サービスを受ける市民の意見を施策に反映することが重要であるため、意見を把握することが必要である。

### 再生医療のまちづくり

このまちづくりが、どのような方向を向いているのか事業方向が見えてこない。このまちづくりは、①再生医療産業のクラスターづくり、②再生医療ツーリズムによる交流人口の増加、③再生医療に関わる人材育成が考えられるが、①・②が重要となるので、この点をどのように展開していくかが事業の要となる。